平成26年度淀川水系流域委員会 第3回地域委員会 資料-4

淀川水系流域委員会

平成25年度進捗点検結果説明資料 【利用(猪名川)】

平成27年4月24日

近畿地方整備局

平成26年度 第3回淀川水系流域委員会 説明資料【利用(猪名川)】

	点検項目	観点	指 標	平成25年度 進捗	本文頁
1		水域の秩序ある淀川利用に向けての誘導ま	舟運の取り組み内容・水制工整備数	該当無し	P.273
2			秩序ある河川利用に向けての取組内容・誘導、規制数	無し (河川環境と重複)	P.274
3		川の安全利用施策の実施状況	水難事故防止に向けた取り組み内容・実施数	有り	P.275
4	川らしい利用の促進	「川に活かされた利用」の実施状況	環境学習などの実施内容・回数	有り	P.277
5		陸域・水陸移行帯の秩序ある淀川利用に向け ての誘導または規制の取組状況(川らしい河 川敷利用)	河川保全利用委員会の取り組み内容・回数	有り (河川環境と重複)	P.279
6			違法行為の是正内容・不法耕作面積	有り (河川環境と重複)	P.282
7			バリアフリー化の内容・実施箇所数	無し (人川と重複)	P.286
8	趙い 空にばる河川の		水辺の整備内容	該当無し	P.288
9	全 ¹ 佣	思い、女らげる河川の登偏状況	小径(散策路)の整備内容・延長	無し (人川と重複)	P.289
10			迷惑行為の是正内容・対策箇所数	無し	P.291
11			ホームレス対応内容・確認数	有り	P.292
12	まちづくり・地域づくり		三川合流部の拠点の整備内容	該当無し (人川と重複)	P.296
13	との連携	まちづくりや地域連携の取り組み状況	歴史文化と調和した河川整備内容	該当無し	P.297
14			水辺を活かしたまちづくりの取り組み内容	該当無し	P.300
15			水源地域ビジョン策定とその後の活動内容・回数	有り (人川と重複)	P.306
16	水源地域の活性化	水源地域ビジョンの推進状況	ダム周辺の施設整備内容	無し	P.311
17	17		湖面活用促進の取り組み内容・活用数	無し	P.312

【観点】川の安全利用施策の実施状況

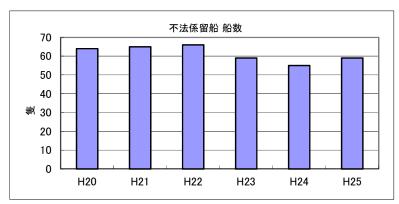
「指標」秩序ある河川利用に向けての取組内容・誘導、規制数(河川環境と指標が重複)

猪名川では進捗なし。

進捗状況

(平成25年度の取組)

平成25年度は、59隻存在しており、平成20年度に比べて5隻の不法係留船 が減少した。



点検項目「多様な生態系を有する淀川水系の再生と次世代への継承」の[指標]河川景観を 損ねている不法工作物の計画的な是正やゴミの不法投棄の防止状況と重複掲載

点検結果

不法係留船及び投棄船の現地調査結果を関係機関へ情報提供し連携した取り組みを実施している。

今後、継続して関係機関と連携した取り組みを行っていく。

【観点】川の安全利用施策の実施状況

「指標」水難事故防止に向けての取組内容・誘導、規制数

【水難事故防止の取り組み事例】(河川水難事故に関する啓発パンフレットの配布による啓発)





猪名川河川愛護セミナーでパンフレットを配布し、小学生などに水難事故に関する啓発を行った。

【観点】川の安全利用施策の実施状況

「指標」水難事故防止に向けての取組内容・誘導、規制数

・野洲川において、水難事故防止のパンフレットを配布し、注意喚起を行った。(琵琶湖)

	点検結果
(平成25年度の取組) 平成25年度の取組) 平成25年度は8件実施し、内容は以下のとおりである。 ・わがまち防災スクール:淀川で河川レンジャーと連携し、中学生を対象に、災害(水害)発生時の避難行動啓発と共に、万一の水難事故発生時の応急手当に関する知識・技術習得のための講習などを行った。(参加者927名) ・親子川の学校:淀川で河川レンジャーと連携し、木津川本川、流入河川で親子を対象に河川の体験学習会・親水体験と共にライフジャケット装着指導や水辺の安全講義を行った。(参加者274名) ・水辺の安全講習出前講座:淀川で河川レンジャーと連携し、小学校へ出前講座を実施。川の危険箇所説明、ライフジャケットの必要性、スローバックなどの陸上から行う救助方法、淀川モバイルネットの活用術などを講義する「川の安全教室」の後、プールで「着衣泳実習」「ライフジャケット着用体験」の体験学習を実施。知識と体感による安全利用啓発を行った。(参加者70名) ・淀川の安全利用への影響確認:台風18号出水を受け、淀川河川事務所による河川管理施設についての重点的な被災状況調査の調査実施に併せて、地域と行政との橋渡し役を担っている河川レンジャーによる「淀川の安全利用への影響確認」を実施。"一般の方が河川を利用する際に安全な利用に影響を与えるような事象について、河川レンジャー等のネットワークを活用しながら情報を収集、整理し、河川レンジャー活動へ活用すると共に淀川河川事務所へ提供した。 ・河川レンジャー活動において、ライフジャケット着用・着衣のまま川に入ったときの動きにくさ・川の特性(急に水深が深くなる、流速が急に変わる)などの経験を通じた啓発を行った。(実施回数2 合計参加者数81名)(木津上) ・「猪名川河川愛護セミナー」において、参加された親子約150人に対し河川利用の啓発冊子等を用いて河川水難事故に関する啓発を行った。(猪名川)	実技講習や川の利用者への防災情報の 提供等を通じて、水難事故防止のための 活動が着実に行われている。 今後も引き続いてそれらの取り組みを進 めていく必要がある。

【観点】「川に活かされた利用」の実施状況

「指標」環境学習などの実施内容・回数

【猪名川河川事務所】

兵庫県尼崎市椎堂地先において、地域住民を対象に猪名川の自然環境及び外来種対策について勉強会を実施し、猪名川における外来種対策について啓発を行った。(開催日:平成25年11月19日、参加者18名)







袋に詰めて まとめて処分

椎堂地区勉強会の状況

進捗状況

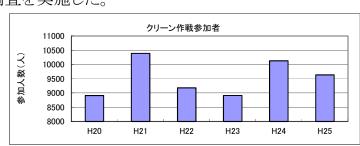
(平成25年度の取組)

①住民・住民団体(NPO等)や河川レンジャー等と連携した環境学習を行っている。平成25年度に実施した主な事例を以下に示す。

- ・猪名川河川事務所管内では河川レンジャーやNPOを通じて、地域活動団体等を対象に外来生物調査会を1回実施した。
- ・淀川河川事務所管内では、河川レンジャーの活動を通じて、地域住民等を対象とした淀川流域の自然観察や防災学習を流域の小学校、中学校に対し出前講座を31回実施した。講座では、淀川流域の河川の特徴や歴史、ゴミ問題など環境について説明した。
- ・木津川上流河川事務所管内では、上野生涯学習会議と連携し稲広橋と新服部橋で計2回水生生物調査を実施した。また、河川レンジャー活動において、依那古地区で1回水生生物調査を実施した。

②水辺の川らしい利用の啓発に関する主な事例として クリーン作戦が実施されている。以下に参加者の経年変化を示す。

平成25年度は、9,600人以上の方々が参加した。



点検結果

河川レンジャー 等と連携した環境 学習やクリーン作 戦が継続的に行 われている。

今後も河川に係 わる人材育成の 支援や、NPO等と 連携した環境学 習の場を提供して いくなど、取り組み を進めていく必要 がある。

【観点】陸域・水域移行帯の秩序ある淀川利用に向けての誘導または規制の取り組み状況(川らしい河川敷利用)

「指標」河川保全利用委員会の取り組み内容・回数(河川環境と指標が重複)

【猪名川河川事務所】

「猪名川・藻川河川保全利用委員会」は、淀川水系猪名川及び藻川の猪名川河川事務所直轄区間において、周辺環境及び地域特性を考慮しつつ川らしい自然環境を保全・再生する観点に立って、公園等の占用施設の新設及び更新許可にあたって意見を述べることを目的として、平成21年度から委員会による議論を実施している。

平成25年度は、東久代公園、猪名川河川敷緑地などの現 地視察を行い、生物多様性戦略に基づいた公園の整備や、 環境を考えた利用の取り組みなどの助言をいただいた。





平成25年度審議対象における代表的な意見

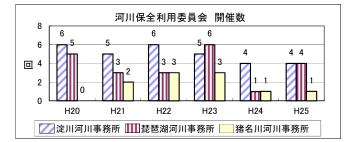
- 生物多様性戦略に基づいて公園の整備を検討するとともに、関係部署と協力の上、市民にアピールして頂きたい。
- ・環境学習会を開くなど、環境を考えた本来の川らしい利用が出来るような取り組みを積極的に行って頂きたい。

進捗状況

(平成25年度の取組)

平成25年度は、河川保全利用委員会を淀川河川事務所では4回、琵琶湖河川事務所では4回、猪名川河川事務所では1回の計9回開催しており、公園等施設の更新において、以下のような意見をいただいた。

- ・占用者、利用者、河川管理者、市民の4者が望ましい河川占用について 環境面から意見を述べ、情報共有を図ること。
- ・河川敷での公園利用を河川管理者が許可するにあたり、占用者、委員、 河川管理者が河川の環境面にも配慮した保全利用の観点から審議を行った。
- ・野洲川左岸の側帯に占用している「野洲川改修記念公園」の許可期限が 平成26年3月31日であることに伴い、河川保全利用委員会において更新 許可の妥当性について審議した。



点検項目「流域管理に向けた継続的な施策展開」の[指標]河川管理者以外の者が管理する施設に対する働きかけの実施内容・河川保全利用委員 会開催数と重複掲載

点検結果

川らしい河川敷 利用に向け、河川 保全利用委員会 の意見を踏まえた 取り組みが進んで いる。

今後も周辺環境・地域特性を考慮しつつ、川らしい河川敷利用に向けて取り組んでいくものとする。

【観点】陸域・水域移行帯の秩序ある淀川利用に向けての誘導または規制の取り組み状況(川らしい河川敷利用)

「指標」違法行為の是正内容・不法耕作面積(河川環境と指標が重複)

【不法耕作の是正事例】 【猪名川河川事務所】





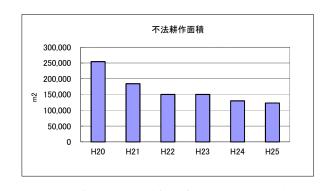


市道として占用している自治体と連携して不法耕作(1箇所、約200m2)の是正に至った。

進捗状況

(平成25年度の取組)

平成25年度の不法耕作面積は約12万m²となり、 減少傾向となっている。



点検項目「多様な生態系を有する淀川水系の再生と次世代への継承」の[指標]河川景観を損ねている不法耕作物の計画的な是正やゴミの不法投棄の防止状況と重複掲載

点検結果

不法耕作に対する現地指導等により、不法耕作面積は着実に減少している。

今後も不法耕作、及び不法工作物に対し継続 した是正の取り組みを行っていく。 憩い、安らげる河川の整備

【観点】憩い、安らげる河川の整備

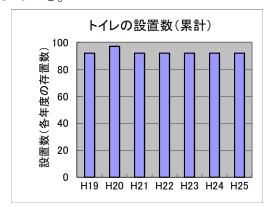
「指標」バリアフリー化の内容・実施箇所数(人川と指標が重複)

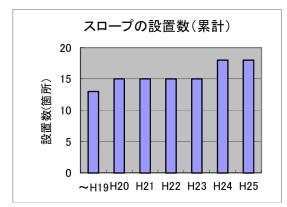
猪名川では進捗なし。

進捗状況

(平成25年度の取組)

平成25年度はトイレ及びスロープについては、更新はなかった。ただし、平成25年9月出水等により、トイレ10箇所が破損等で使用できなくなっており、平成26年度以降順次更新・修理を予定している。





点検結果

河川内で子どもや高齢者でも安心して利用でき、多くの人が気軽に集うことができる場となるよう、トイレを92箇所、スロープを18箇所設置していたが、利用者からトイレについては「臭い、汚い」との意見が多いため、平成22年度以降は昭和56年度以降に設置されたスチール製トイレを簡易水洗式のFRP製トイレに更新している。また、平成25年9月出水等により、使用できなくなったトイレについては順次更新・修理していくこととしている。

今後も安心して、気軽に利用できる場として整備 を進めるとともに、施設整備にあたってはバリアフ リー化を進める。

点検項目「日常からの川と人のつながりの構築」の〔指標〕バリアフリー化の内容・実施箇所数と重複掲載

憩い、安らげる河川の整備

【観点】憩い、安らげる河川の整備

「指標」小径(散策路)の整備内容・延長(人川と指標が重複)

猪名川では進捗なし。

進捗状況 点検結果 (平成25年度の取組) 今後も、各整備箇所の特性を考慮した整備内容 要は25年度の取組) なおまれる(世常路) また。会体制 悪205 の、のきた、正は25年度また。また計 世代は 図り、川いまた、地は即のよい700

平成25年度は小径(散策路)を1.4km整備した。全体計画285.9kmのうち、平成25年度末までに198.2km(整備率69%)が整備済であり、残区間は87.7kmとなった。



点検項目「日常からの川と人のつながりの構築」の[指標]小径(散策路)の整備内容・延長と重複掲載

今後も、各整備箇所の特性を考慮した整備内容を検討し、推進を図り、川とまち・地域間の水辺のネットワークの形成に努めるとともに、琵琶湖・淀川流域圏再生推進協議会において、関係機関と広域的な水辺の散策路ネットワークについても調整を図り、利用者の視点に立った活用促進方策について検討していく。

平成26年度 第3回淀川水系流域委員会 説明資料【利用(猪名川)】

憩い、安らげる河川の整備 【観点】憩い、安らげる河川の整備 「指標」迷惑行為の是正内容・対策箇所数

猪名川では進捗なし。

進捗状況	点検結果
(平成25年度の取組) 平成25年度は、バイクの乗り入れを規制する車止めを1箇所設置した。	バイク走行に対する規制及び車止め設置等の取り組みが実施され河川利用者、あるいは近隣住民 の安全性が向上している。
	今後も迷惑行為の是正に向け、関係機関と連携し 規制やマナーの向上等に取り組んでいく。

憩い、安らげる河川の整備

【観点】憩い、安らげる河川の整備状況

「指標」ホームレス対応内容・確認数

【ホームレス実態調査】 【猪名川河川事務所】





猪名川河川事務所管理区間では、

平成20年度末 26人

平成21年度末 14人

平成22年度末 17人

平成23年度末 15人

平成24年度末 10人

平成25年度末 7人

となっている。定期的に職員が巡回して指導等を行っている。また、自治体福祉部局及 び橋梁管理者と連携して対応している。

指導の結果、自治体福祉部局を通じて病院、生活保護施設等に入所していただき、減 少している。

進捗状況 点検結果 (平成25年度の取組) 自治体福祉部局との連携によりホームレスの起居数は減少している。 平成25年度は、約133人のホームレスが河川敷に起居していることを 今後も引き続き、自治体福祉部局等関係機関と連携していく。 確認した。 ホームレス 確認数 500 400 300 200 100 H20 H21 H22 H23 H24 H25

水源地域の活性化

【観点】水源地域ビジョンの推進状況

「指標」水源地域ビジョン策定とその後の活動内容・回数(人川と指標が重複)

【一庫ダム管理所における活動状況(流木ペインティング)】

ー庫ダムでは、ダム湖に流入した流木を利用して「美しい猪名川 流木ベインティング大会」を実施し、廃棄物の有効活用やゴミ減量への意識向上に役立てた。





美しい猪名川 流木ペインティング大会(43名参加)

水源地域の活性化

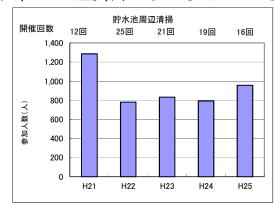
【観点】水源地域ビジョンの推進状況

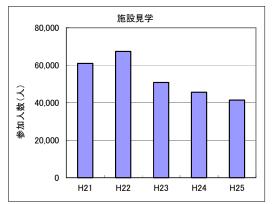
「指標」水源地域ビジョン策定とその後の活動内容・回数(人川と指標が重複)

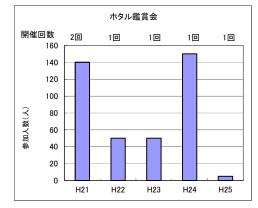
進捗状況

(平成25年度の取組)

平成25年度は、水源地域ビジョンの取り組みとして、貯水池周辺清掃に約1,000人(16回開催)、施設見学会に約4万1千人、ホタル鑑賞会に5人が参加している。







また、平成25年度の個別の取組としては、以下のとおりである。

- ・天ヶ瀬ダムでは、宇治観光ボランティアガイドクラブとともに、天ヶ瀬ダムを広く国民に知っていただき、あわせて、天ヶ瀬 ダムを観光資源として活用していただくことを目的とした協働事業における施設見学を実施した。
- ・淀川水系のダム水源地が広域的に連携して、ダムや水源地への理解を深め、関心を高揚させるための情報発信並びに水源地の地域振興等を図ることを目的として、青蓮寺ダム管理所及び、比奈知ダム管理所において現場視察と意見交換会を実施した。
- ・水源地に対する理解を深めて頂くため、淀川資料館に展示ブースを設置し、淀川水系各ダム及び水源地域の各市町村のパネル展示、パンフレット配布等を実施した。
- ・日吉ダムにおいて、水源地域ビジョン連絡会の連携活動の取り組みとして、集中取組期間(9月~11月)を設けて関係機関によるダム周辺地域の清掃活動を実施した。
- ・木津川ダム群において、水源地域ビジョンの実行連絡会を4回開催し、関係自治体、機関等が平成24年度の実施報告並びに平成25年度の計画報告を行った。
- また、各ダムにおいて施設見学会を実施した。
- ・一庫ダムにおいて、水源地域ビジョン推進協議会による廃棄物の有効活用やゴミの減量への意識を高める事を目的に、 ダム湖に流入した流木を利用した「美しい猪名川 流木ペインティング大会」を実施。(8月)

点検項目「上下流の連携の構築」の[指標]水源地域ビジョン策定とその後の活動内容・回数と重複掲載

点検結果

水源地域ビジョンを策 定し連絡会等により各 施策が実施され、各行 事には多数の参加者が 訪れている。

また、ダム周辺では施設整備が進められ利用者の利便性が向上するとともに、湖面利用の促進に取り組んでいる。

今後も関係機関と連 携しダム施設見学会、 ダム湖周辺におけるマ ラソン大会、水源地域の 植林活動、間伐材の利 用促進、水質保全対策 の実施や不法投棄対策 の実施など水源地域ビ ジョンの取り組みを継続 的に推進する。

また、ダム周辺施設の整備や湖面利用促進策を進めていく。